

保護者アンケート 集計			令和元年度(12月)				令和2年度(12月)				令和3年度(12月)			
			そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
1	教育目標	建学の精神である「誠実で信頼される人に」が生徒や保護者に明確に示され、学校教育目標に基づき運営されている	33.2%	56.7%	8.3%	1.7%	34.0%	57.4%	8.2%	0.4%	40.8%	53.3%	5.5%	0.4%
2	学習指導	学習指導において生徒一人ひとりの状況や習熟度に応じた適切な指導をしている	31.6%	51.1%	14.7%	2.6%	34.5%	48.8%	13.9%	2.8%	43.6%	42.4%	12.6%	1.4%
3	進路指導	学年に応じた進路指導が充実している	34.1%	55.5%	8.4%	2.0%	36.1%	52.9%	9.5%	1.5%	44.2%	50.2%	11.4%	0.6%
4	生活指導	基本的な生活習慣や社会のルール・マナーを身につけられるような指導が行われている	34.4%	49.3%	14.0%	2.3%	30.4%	54.0%	12.8%	2.7%	37.8%	50.2%	11.4%	0.6%
5	教育相談	一人ひとりの生徒の様子を常に把握し、親身になって悩みや相談にのってくれる	35.7%	48.6%	11.7%	4.0%	40.9%	45.0%	12.2%	1.9%	45.7%	43.3%	10.2%	0.8%
6	学校生活	学校行事やクラブ活動などで、生徒の活躍できる機会が多い	42.6%	40.9%	14.8%	1.7%	24.7%	46.5%	23.8%	4.9%	30.2%	49.4%	17.1%	3.3%
7		保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	43.0%	46.1%	9.5%	1.4%	40.0%	50.9%	7.1%	1.9%	41.7%	52.6%	4.9%	0.8%
8	教育環境	安心・安全で満足のいく施設・設備である	56.1%	35.3%	7.4%	1.1%	49.0%	44.4%	6.0%	0.6%	56.8%	39.3%	3.7%	0.2%
9	家庭との連携	学校からの情報はメール配信・ホームページや通信等で十分に保護者に伝わっている	38.7%	49.0%	11.2%	1.1%	47.9%	40.9%	9.7%	1.5%	50.3%	43%	6.3%	0.4%
10		保護者会活動が活発である	34.1%	55.2%	9.8%	0.9%	22.0%	51.9%	23.1%	3.0%	25.5%	54.9%	18.2%	1.4%
11	満足度	子どもを入学させてよかった	55.3%	37.0%	6.6%	1.1%	48.8%	43.7%	6.3%	1.2%	57.1%	37.7%	4.2%	1.0%
今年度のみ		新型コロナウイルス感染症対策の対応等は充分であった					36.2%	48.5%	11.6%	3.7%	56.3%	39.2%	3.3%	1.2%

以上

令和4年3月25日

保護者アンケート 集計			令和2年度(12月)				令和3年7月				令和3年度(12月)			
			そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
1	教育目標	建学の精神である「誠実で信頼される人に」が生徒や保護者に明確に示され、学校教育目標に基づき運営されている	34.0 %	57.4 %	8.2 %	0.4 %	38.6 %	53.7 %	7.5 %	0.2 %	40.8%	53.3%	5.5%	0.4%
2	学習指導	学習指導において生徒一人ひとりの状況や習熟度に応じた適切な指導をしている	34.5 %	48.8 %	13.9 %	2.8 %	39.8 %	47.1 %	11.1 %	2.1 %	43.6%	42.4%	12.6%	1.4%
3	進路指導	学年に応じた進路指導が充実している	36.1 %	52.9 %	9.5 %	1.5 %	40.5 %	48.6 %	10.1 %	0.8 %	44.2%	48.1%	7.5%	0.2%
4	生活指導	基本的な生活習慣や社会のルール・マナーを身につけられるような指導が行われている	30.4 %	54.0 %	12.8 %	2.7 %	35.1 %	53.2 %	9.0 %	2.6 %	37.8%	50.2%	11.4%	0.6%
5	教育相談	一人ひとりの生徒の様子を常に把握し、親身になって悩みや相談にのってくれる	40.9 %	45.0 %	12.2 %	1.9 %	43.1 %	45.3 %	9.9 %	1.7 %	45.7%	43.3%	10.2%	0.8%
6	学校生活	学校行事やクラブ活動などで、生徒の活躍できる機会が多い	24.7 %	46.5 %	23.8 %	4.9 %	31.4 %	50.6 %	15.2 %	2.7 %	30.2%	49.4%	17.1%	3.3%
7		保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	40.0 %	50.9 %	7.1 %	1.9 %	42.6 %	50.4 %	5.6 %	1.4 %	41.7%	52.6%	4.9%	0.8%
8	教育環境	安心・安全で満足のいく施設・設備である	49.0 %	44.4 %	6.0 %	0.6 %	54.4 %	40.3 %	4.7 %	0.5 %	56.8%	39.3%	3.7%	0.2%
9	家庭との連携	学校からの情報はメール配信・ホームページや通信等で十分に保護者に伝わっている	47.9 %	40.9 %	9.7 %	1.5 %	51.0 %	40.9 %	7.0 %	1.1 %	50.3%	43%	6.3%	0.4%
10		保護者会活動が活発である	22.0 %	51.9 %	23.1 %	3.0 %	23.6 %	58.4 %	15.3 %	2.7 %	25.5%	54.9%	18.2%	1.4%
11	満足度	子どもを入学させてよかった	48.8 %	43.7 %	6.3 %	1.2 %	58.9 %	35.5 %	4.3 %	1.3 %	57.1%	37.7%	4.2%	1%
今年度のみ		新型コロナウイルス感染症対策の対応等は充分であった	36.2 %	48.5 %	11.6 %	3.7 %	42.7 %	51.3 %	3.7 %	2.2 %	56.3%	39.2%	3.3%	1.2%

以上

建学の精神 「誠実で信頼される人に」
 学園経営方針 「生徒、保護者、地域の満足度向上」
 学園の標榜 「すべては生徒のために～生徒が輝く学校づくりを目指して」

教育実践目標
 1. 主体的な学びを育み、真の学力を養成します
 2. 自主・自律の校風づくりをします
 3. 違いを認め合い、自他を尊重する仲間づくり

重点目標及び行動計画

- 1 新型コロナ感染拡大防止対策について**
 - 安全安心な学校生活を過ごすため、ガイドラインを遵守します。家族等に感染の疑いがある段階での保護者と学校との連携および適切な対応をします。
- 2 授業力向上および進路実績向上**
 - 各学年の模擬試験等のデータ分析を学校全体で共有し、授業改善や課外・補習等学力向上に取り組みます。
 - 難関国公立大学20名以上合格のための集団づくりに取り組みます。
 - 初任者の教科指導力研修を充実します。
 - ICT教育の推進のため、先進事例の収集・研究・実践に取り組みます。
- 3 特進コース・医進・選抜コースそれぞれの魅力化・特徴化の推進**
- 4 キャリア教育の充実**
 - 3～5年次における進路学習の一層の充実を図り、適性と志望校等との最適化を図ります。
 - 大学入試の変化を的確に把握し有効な情報を生徒に周知します。
 - 海外留学・海外大学への進学について情報収集とガイダンスを実施します。
 - 「探究活動」の推進（4・5年生、前期課程は基礎力習得）をします。
- 5 自主・自律の精神の育成**
 - Classiを自己管理・時間管理のツールとして、目標を立て日々の時間を有効かつ有意義に過ごす力を育成します。
 - 基本的生活習慣の確立
あいさつ、身だしなみ、ベル席等を定着させます。
 - 生徒会活動の活性化
コロナ禍の鈴青祭の工夫、ボランティア、「意見箱」活動に取り組みます
 - コミュニケーション能力やプレゼンテーション力を育成します。
- 6 心の健康に留意し、自他尊重の感覚を育て、いじめや差別を生まない集団づくり**
 - 教育活動のあらゆる場面を通して、生徒の人権意識を高め、人権尊重の立場に立てる生徒を育成します。
 - 教育相談室の有効な運営を行います。
- 7 学校の魅力化の取組等その他**
 - 創立35周年を祝います。
 - 資格取得やコンテスト等（校外）へのチャレンジを奨励します。
 - ホームページ新着情報の更新回数向上等広報活動の充実を図ります。
 - 入試広報部において、教員と事務局職員との教職協働を行います。
 - 業務の見直し・削減と電子化システム化等働き方改革に取り組みます。セーフティボックス新設（2年）、本館・EMC2階の通路に庇を設置します。
 - 読書活動を推進します。



学年目標

- 1年「鈴鹿中等教育学校生としての当たり前を身につける」**
 - 挨拶ができる生徒の育成（相手に聞こえる、自ら進んで挨拶をする）
 - 思いやりを持ち他者を尊重する人間性の育成
 - BCの効果的活用による家庭学習習慣の確立
 - 第2回学力推移調査（9月実施）
偏差値 60(A1)以上 35名以上、50(B1)以上 95名以上、40(D層) 5名以下
 - 英語検定 受験は100%
4級以上合格 特進C 60%、医進・選抜C 100%
3級以上合格 特進C 10名以上、医進・選抜C 40名以上
- 2年「言葉・行動・知性においてスマート（気遣いができる賢い）な人に」**
 - 西館最上級生としての自覚と責任感を育成する。
 - 自己管理・時間管理ができる人に
Classiの入力率・手帳の提出率 100%
 - BC、Webテスト、テスト対策講座、英数学び直し講座などの効果的実施
 - 第2回学力推移調査（9月実施）
偏差値 60(A1)以上 25名以上、50(B1)以上 80名以上、40(D層)0名
 - 英語検定 受験は100% 4級以上合格 100%、準2級以上合格 30名以上
数学検定、漢字検定、日本語検定などに、50%以上が挑戦
- 3年「自身の進路目標の発見」**
 - 「誠実で信頼される人に」の体現
 - 各自の進路目標を宣言 100%
 - 放課後の講座等の実施
 - 第2回学力推移調査(9月実施)偏差値
特進C S:5名以上、A:3名以上、B:43名以上、C:15名以下、D:6名以下
医進C S:10名以上、A:20名以上、B:6人以下
 - 英語検定 3級以上合格100%、準2級以上70%、2級以上 合格20名以上
特進C 3級以上合格 100%、準2級チャレンジ 100%
医進C 準2級以上合格 100%、2級チャレンジ 30名以上
- 4年「客観的・社会的視点から自身を知る生徒に」**
 - 志望進路（学問・大学等）を具体的に語る生徒 90%以上
 - オープンキャンパスや卒業生講話など外部からの刺激を与え意識向上を
 - 放課後講座（英語・数学）を3レベルで実施（昨年度から継続）
 - スタサポ・進研模試 GTZ
S3以上 25人以上（中3時17名）、A3以上 65名以上（中3時50名）
 - 全統模試 偏差値 60以上 25名以上、50以上 65名以上
 - 英語検定 2級以上 30名（中3時8名）
準2級以上 80名以上（中3時58名）
- 5年「向上心を育てる」**
 - 自己管理・時間管理が行なえる日常に。
Classiの活用率100%
 - 全統高2模試 3教科偏差値50以上 60名以上
60以上 30名以上
70以上 10名以上、
全統共通テスト高2模試 5教科偏差値
50以上 45名以上
 - 英語検定 受験率100%、各人の取得級を1つ以上上げる。
準2級以上取得100%、2級以上取得40%以上
 - 大学オープンキャンパス参加率100%を目指す。
- 6年「第一志望はゆずらせない」**
 - 志望校を最後まで諦めない。放課後の自習等雰囲気作りを工夫する。
 - データを活用し、学年や生徒個別の目標の設定や修正を徹底する。
 - 難関大学挑戦者数 30名以上（内、東大・京都大・医学部10名以上）
 - 共通テストにおいて、各教科の平均得点
全国平均点+10%
 - 国公立大学合格者数 50%以上を目指す。



各教科の目標

ホームページに掲載していますのでご覧ください。



あなたらしさ、咲かせよう。



学校法人 鈴鹿享栄学園

鈴鹿中等教育学校

令和3年度 鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校(中高一貫)目標・重点行動計画 自己評価

I 校務分掌等

評価 A 達成 B 一定達成 C 十分達成していない O 現時点では未評価

令和4年3月31日現在

教育目標・重点行動計画	期末 自己評価
<p>1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について</p> <p>①安全安心な学校生活を過ごすためガイドラインを遵守します。家族等に感染の疑いがある段階での保護者と学校との連携および適切な対応をします。</p>	<p>A ガイドラインに沿って、黙食の徹底等基本的な対策を講じた。また、保護者と連携し、家族等に感染の疑いがあった場合の対応を迅速かつ慎重に行えた。また、クラスや学年で感染拡大することがないように保健所と連携できた。感染情報は逐次保護者に伝えた。</p>
<p>2 授業力向上および進路実績向上</p> <p>①各学年の模擬試験等のデータ分析を学校全体で共有し、授業改善や課外・補習等学力向上に取り組みます。</p> <p>②難関国公立大学合格20名以上合格のための集団づくりに取り組みます。</p> <p>③初任者の教科指導力研修を充実します。</p> <p>④ICT教育の推進のために、先進事例の収集・研究・実践に取り組みます。</p>	<p>B 前期、後期課程共に学力推移調査や各種模擬試験後に各学年の結果を職員会議で共有することができた。結果を踏まえ授業改善に取り組み、各学年の結果に応じた放課後講座などを実施できた。</p> <p>B 数年ぶりに現役難関大(旧帝大・国公立医学部)が10名に達した。さらに、過年度卒業生も国立医学部・薬学部に合格した。</p> <p>A 初任者研修において3回、その内、新卒者対象に10回、2年目研修において10回授業研究を行う。加えて、初任者は年齢の近いメンター(先輩教師)による断続的な授業研究の実施。</p> <p>B Google Classroomを運用開始し、オンライン授業、対面授業ともに積極的に活用した。教員間の実践や工夫を共有し発展的な活用につなげ、3月に職員全体で研修会を開き、総括を行った。ICT教育推進委員によるAI教材の事例研修(3回)および研究会(1回)を実施。</p>
<p>3 特進コース、医進・選抜コースそれぞれの魅力化・特徴化の推進</p>	<p>B 各学年の状況に応じて習熟度別の講座やコース別の集会などを実施し、高みを目指す意識向上を図った。</p>

<p>4 キャリア教育の充実</p> <p>①3～5年次における進路学習の一層の充実を図り、適性と志望校等との最適化を図ります。</p> <p>②大学入試の変化を的確に把握し有効な情報を生徒に周知します。</p> <p>③海外留学・海外大学への進学について情報収集とガイダンスを実施します。</p> <p>④「探究活動」の推進(4・5年生、前期課程は基礎力習得)をします。</p>	<p>B 学校としての指導体系に基づき各学年で工夫し取り組んだ。</p> <p>B 学年に応じて大学入試の情報をHRや学年集会、学年懇談会を通して発信することができた。</p> <p>B 生徒・保護者の希望者を対象に、海外に大学進学、留学のガイダンスを開催した。</p>
<p>5 自主・自律の精神の育成</p> <p>①Classiを自己管理・時間管理のツールとして、目標を立て日々の時間を有効かつ有意義に過ごす力を育成します。</p> <p>②基本的な生活習慣の確立 あいさつ、身だしなみ、ベル席等を定着させます。</p> <p>③生徒会活動の活性化 コロナ禍の鈴青祭の工夫、ボランティア活動、「意見箱」活動に取り組みます。</p> <p>④コミュニケーション能力やプレゼンテーション力を育成します。</p>	<p>B Classiの学習記録、校内グループによる情報発信、プラットフォームとしての継続使用。休校中はもとより対面授業下においても時間管理とコミュニケーションに役立っている。二者面談への活用、生徒活動の記録の共有もClassiで試行的運用開始。</p> <p>B 生徒指導部と生徒会が協力して各種キャンペーンを行い多くの、生徒が基本的な生活習慣について意識を持つことができた。</p> <p>B SHRにおける日直スピーチ等、探究活動(4・5年)、英語スピーチコンテスト(1・2・3年生)、授業の英語表現(5年生)、社会(2年生)等様々な機会を通してコミュニケーション能力やプレゼンテーション力を育成した。</p>
<p>6 心の健康に留意し、自他尊重の感覚を育て、いじめや差別を生まない集団づくり</p> <p>①教育活動のあらゆる場面を通して、生徒の人権意識を高め、人権尊重の立場に立てる生徒の育成に努めます。</p> <p>②教育相談室の有効な運営を行います。</p>	<p>B 前期課程の道徳の一環として人権にかかわる教育活動を実施し、アンケート結果に生徒の人権意識が向上している様子が伺えた。</p> <p>B 生徒のみならず保護者が教育相談室の存在を理解、利用し、カウンセラーとの信頼関係によって状況が改善されたケースが増加。 また、教育相談室に係る案件を学年主任が集まる会議で情報共有とともに意見交換を行った。ケース会議と共に充実させたい。</p>

7 学校の魅力化の取組等その他

①創立35周年を祝います。

②資格取得やコンテスト等(校外)へのチャレンジを奨励します。

③ホームページ新着情報の更新回数向上等広報活動の充実を図ります。

④入試対策部において、教員と事務局職員との教職協働を行います。

⑤業務の見直し・削減と電子化システム化等働き方改革に取り組みます。

⑥読書活動を推進します。

B 創立35周年を記念して、ドローンを使っての生徒全員による人文字撮影、元校長や卒業生の協力を得るなどコロナ禍において工夫して、8分程度の記念動画を制作した。保護者会は生徒・職員全員に記念タオルを贈呈していただいた。

B 各学年がこの目標を意識して取り組んだ。

B 曜日担当を設定し、毎日更新体制を構築。平均週4回更新できた。

B 業務内容の共有と担当の分業化が適切に行われたことにより、受験者からの電話での問い合わせにおいて迅速かつ適切に対応できた。

B 朝の全体打合せを週1回とし、電子化による情報共有を行い、業務の効率化や削減に取り組んだ。

C 読書感想文対策講座(2年生)を行ったが、日常的な読書奨励以外特段の取組は行わなかった。

II 学年目標

評価 A 達成 B 一定達成 C 十分達成していない O 通年目標のため未評価

令和4年3月31日現在

<p>1年 「鈴鹿中等教育学校生として当たり前のことを身につける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●挨拶ができる生徒の育成(相手に聞こえる、自ら進んで挨拶をする) ●思いやりを持ち他者を尊重する人間性の育成 ●BCの効果的活用による家庭学習習慣の確立 ●第2回学力推移調査(9月実施) 偏差値60(A1)以上35名以上、50(B1)以上95名以上、40(D層)5名以下 ●英語検定 受験は100% <ul style="list-style-type: none"> 4級以上合格 特進C 60%、医進・選抜C 100% 3級以上合格 特進C 10名以上、医進・選抜C 40名以上 	<p>B 自ら進んで挨拶をするのは約30%だが、意識は全体で意識された。</p> <p>B 他人の心を傷つける事案は発生するが、その都度学年集会や道徳で問いかけ続けた結果、他者を尊重する意識は育成されてきている。</p> <p>B BCの日常的・継続的取組を通して、学習習慣を確立した者とそうでなかった者との二極化が見られるものの、全体的にはよく健闘した。</p> <p>B A1以上32名、B1以上78名、D層以下8名と上位層は目標に近づけた。</p> <p>C 受験は80%。 4級以上合格 特進C 33%、医進・選抜C 76% 3級以上合格 特進C 8名、医進・選抜C 39名 上位層の育成はほぼ成功したが、他は育成できていない。</p>
<p>2年 「言葉・行動・知性においてスマート(気遣いができる賢い)な人に」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西館最上級生としての自覚と責任感を育成する。 ●自己管理・時間管理ができる人に Classiの入力率・手帳の提出率100% ●BC、Webテスト、テスト対策講座、英数学びなおし講座等効果的実施 	<p>A 縦割り掃除において、1年生との交流を通じて、先輩としての自覚が芽生えた。</p> <p>B Classi・手帳ともに、100%には達していないが大多数の生徒は提出でき、自己管理・時間管理ができるようになりつつある。</p> <p>B 年間を通じて、継続して効果的にできた。</p>

- 第2回学力推移調査(9月実施)
偏差値60(A1)以上 25名以上、50(B1)以上 80名以上
40(D層)0名
- 実用英語技能検定 受験は100% 4級以上合格 100%
準2級以上合格 30名以上
数学検定、漢字検定、日本語検定などに50%以上が挑戦

- A 偏差値60(A1)以上 25名。50(B1)以上81名とほぼ達成した。
- B 4級以上合格者80%と達成できず。準2級以上合格者数81名と達成できた。
その他の検定受験は目標達成できなかったが、数学検定、漢字検定、歴史検定は校内受験ができるようにした。

3年 「自身の進路目標の発見」

- 「誠実で信頼される人に」の体現
- 各自の進路目標を宣言 100%
- 放課後の講座等の実施
- 第2回学力推移調査(9月実施)偏差値
特進C S 5名以上、A 3名以上、B 43名以上、
C 15名以下、D 6名以下
医進・選抜C S 10名以上、A 20名以上、B 6名以下
- 実用英語検定 3級以上100%、準2級以上70%、
2級以上合格20名以上
医進・選抜C 準2級以上合格100%、2級チャレンジ30名以上

- B 今後とも目指して取り組んでいきたい。
- A 総合学習の一環として全員が現時点における志望校を宣言できた。
- A 数学科を中心に、対象層などを工夫して実施できた。
- B 過去回より上昇したものの目標未達成
特進C S 4名、A 12名、B 42名、C 10名、D 7名
医進・選抜C S 7名、A 14名、B 15名
- B いずれも未達成
3級以上 96名(81%)、準2級以上 55名(46%)
2級以上 16名(13%)
医進・選抜C 準2級以上 83%

4年 「客観的・社会的視点から自身を知る生徒に」

- 志望進路(学問・大学等)を具体的に語れる生徒90%以上
- オープンキャンパスや卒業生講話など外部からの刺激を与え意識向上を
- 放課後講座(英語・数学)を3レベルで実施(昨年度から継続)
- スタサポ・進研模試 GTZ
S3以上 25人以上(中3時17名)
A3以上 65名以上(中3時50名)
- 全統模試 偏差値 60以上 25名以上、50以上 65名以上
- 実用英語検定 2級以上 30名以上(中3時8名)、
準2級以上 80名以上(中3時58名)

- A 個人面談を通じ、まだ迷いがある生徒がいるものの、ほぼ全員が自分の志望校を明確に語れるようになった。
- B コロナ禍でオープンキャンパスは実際には参加できなかったが、オンラインにより参加できた。また、卒業生講話により大学生活を多くの生徒が具体的にイメージできるようになるなど刺激となった。
- A 最終的には、4レベルで実施し、幅広い層の生徒の需要に応えた。
- B スタサポ第2回において、
S3以上 35名、A3以上 65名と目標達成したが、その他の模試においては未達となった。
- A 60以上は2回達成、50以上3回達成。
- B 2級以上は準1級を含め31名と達成。
準2級以上は76名と未達成。

5年 「向上心を育てる」

- 自己管理・時間管理が行なえる日常に。Classiの活用率100%
- 全統高2模試 3教科偏差値50以上 60名以上
60以上 30名以上、70以上 10名以上
全統共通テスト高2模試 5教科偏差値 50以上 45名以上

- C 活用率が下がってきている。改めて活用を促進し、習慣化させたい。
- C 記述模試 50以上 42名、60以上 15名、70以上2名
共通テスト模試 50以上 33名。目標に届かなかった。
学習方法の確立や学習時間の確保が依然課題であり、生徒との個別面談等において個別指導を強化していく。

- 実用英語検定 受験率100%、各人の取得級を1つ以上上げる。準2級以上取得100%、2級以上取得40%以上を目指す。
- 大学オープンキャンパス参加率100%を目指す。

- C 個人の事情もあり受験率100%には届かなかった。準2級以上取得70.7%、2級以上25.7%に留まった。
- B コロナ禍により、オープンキャンパスはオンライン形式となったが、オンラインによる情報収集については多数が積極的に取り組んだ。

6年「第一志望校はゆずらせない」

- 志望校を最後まで諦めない。放課後の自習等雰囲気づくりを工夫する。
- データを活用し、学年や生徒個別の目標の設定や修正を徹底する。
- 難関大学挑戦者数 30名以上(内、東大・京大・医学部10名以上)
- 共通テストにおいて、各教科の平均得点 全国平均点+10%
- 国公立大学合格者数 50%以上を目指す。

- B 放課後7時まで残って自習する生徒は学力上位層を中心に一定数見られ、互いに切磋琢磨している雰囲気であった。
- B 教科担当者会議を開き、講師の先生方とも状況の共有ができた。
- B 難関大学挑戦者数28名(東大・京大・医学部挑戦者数10名)
- B 4科目で達成。15科目中13科目が全国平均を上回ったのはここ数年間で最多。
- C 未達